

そけいヘルニアって?



重い荷物を持ち上げたり、咳き込んだり、立ち上がってお腹に力が入ったとき、太もものつけね(鼠径部)にこぶのような膨らみを感じたことはありませんか。そのこぶが、痛みも少なく、突っ張り感や違和感がある程度で、横になったときや手で押すと、元に戻ってしまうようであれば、それは脱腸ともいわれているそけいヘルニアのイエローカード(黄信号)です。

〈初期のそけいヘルニアの症状〉

- ・押すともとに戻る柔らかい膨らみ
- ・突っ張り感
- ・不快感や違和感

以上の状態が時々発生します。



〈進行したそけいヘルニアの症状〉

- ・膨らみが硬くなりもとに戻らない
- ・強い痛み
- ・吐き気

ヘルニアの程度が進むと、膨らみが硬くなったり、手で押さえても元に戻らなくなり、お腹に強い痛みや吐き気を感じるようになります。膨らんだ部分が元に戻らなくなった状態を嵌頓(かんとん)と言い、すぐに治療を受ける必要があります。このような状態になる前に病院に行き、「外科」の医師の診察を受けるようにしましょう。

そけいヘルニア(脱腸)を"治す"方法は手術だけ

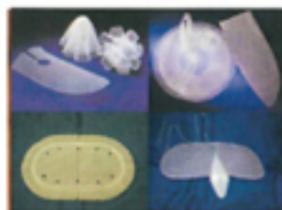
成人のそけいヘルニアは自然に治ることはありません。

また、有効なお薬や運動療法もなく、〈手術〉のみが"治せる"治療です。ヘルニアバンド(脱腸帯)は外から押さえることにより、一時的に鼠径ヘルニアの症状を軽くする対症療法で、むしろ圧迫により皮膚障害や精巣(睾丸)萎縮を招くおそれがあるとされ、お勧めできません。

鼠径ヘルニアは良性の病気ではありますが、放置すると嵌頓(かんとん:飛び出した部分が元に戻らなくなる)することがあり、緊急手術が必要になることもあります。

嵌頓(かんとん)は鼠径ヘルニア患者さん全体の約5%程度に起こると考えられていますので、スケジュールのよい時期を選び、早めの手術治療を受けましょう。

当院では基本的には2泊3日の入院での治療を行っています。下半身麻酔でのメッシュを用いたヘルニア手術を主に行っております。従来の直接筋膜を縫縮する手術とは異なり、今後腹腔鏡を用いた手術や日帰り手術なども、取り入れていく予定ですので、そけいヘルニアかなと思われたらお気軽にご相談ください。



ヘルニア治療に用いるメッシュ素材



当院デイケアひまわりでは、9月18日(火)19日(水)20(木)の3日間におきまして約1時間、【敬老会】が行われました。

普段のレクリエーションではなかなか出来ないことをして少しでも利用者様に楽しんで頂こうとスタッフ一同企画をし、練習を行いました。

利用者様に日頃の感謝の意を込めてスタッフが出し物や鳴子踊り・だんじりソーランを披露し、大いに盛り上がりました

デイケアひまわりにて、11月9日・10日に鍋パーティが行われました。利用者様とスタッフと一緒に鍋を囲み、普段の昼食とは違って、楽しく会話しながらの食事は、親睦を深めるのに良い機会になりました。



当院第1リハビリテーション室で12月8日土曜日に「クリスマス会」が開かれ、入院されている患者様とご家族様約60人が参加されました。

泉南中学校吹奏楽部・軽音楽部による演奏会では元気いっぱいのダンスや演奏に皆様笑顔となり、喜ばれていました。クイズでは昔懐かしい問題もあり笑い声が響きました。

患者様による合唱・合奏では一生懸命な姿に大きな拍手が起こり、盛り上がりました。

また、患者様ひとりひとりに手作りのクリスマスカードが手渡され、大変な入院生活の中でも楽しい時間を過ごすことができました。